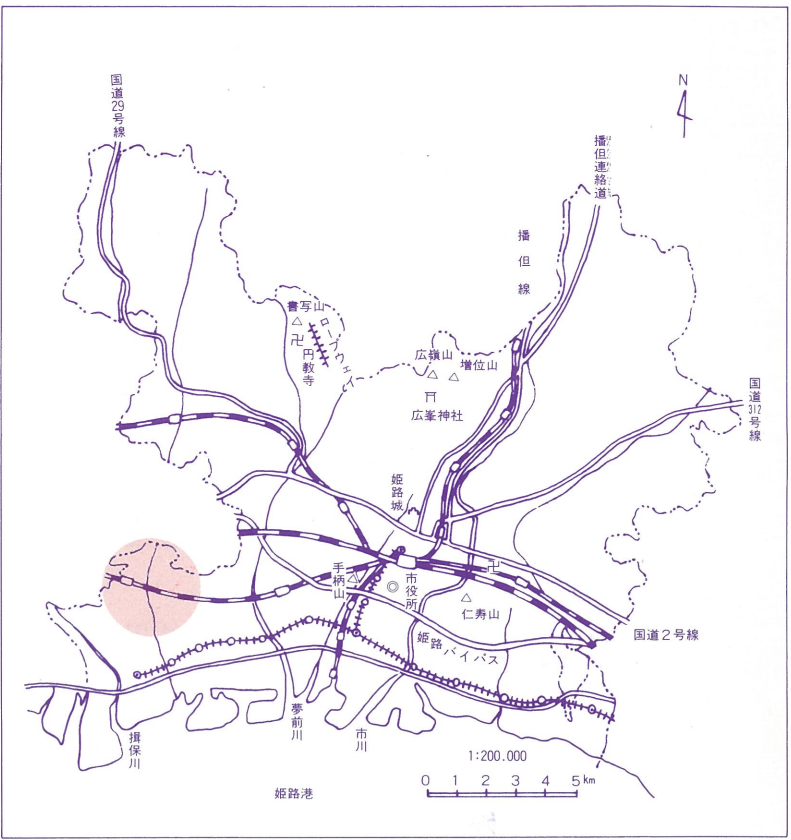




## 文化財をたずねて 朝日山周辺めぐり



### 交通案内

山陽本線網干駅北口より徒歩、又は市営バス下太田行が利用できます。

### コース案内

●網干駅(500m)―船繋岩(300m)―朝日山大日寺(500m)―朝日谷火揚げ場(500m)―吉備神社(500m)―下太田廃寺(800m)―ひさご塚古墳(400m)―丁古墳公園(約1km)―山戸春日神社(約1.5km)―網干駅  
(春日神社近くに勝原小学校前バス停があり、姫路駅へのバスの便もあります。)  
全行程は約6・0kmですが、朝日山の登り、下りがあります。

### 表紙説明

五智如来石仏。朝日山大日寺の境内にあり、赤松政秀(龍野城主)の寄進と伝えられています。向って右より宝生・阿闍・大日・不空成就・阿弥陀の五如来。

昭和62年2月28日(姫路市教育委員会発行)  
平成3年1月再版(姫路市文化財保護協会)

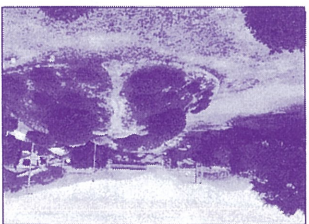
春日神社



古墳の遺構は、尾根の西側にあり、東西約100m、南北約50mの範囲に広がっています。古墳の形状は、東西に長い長方形で、南側に開口部があります。また、古墳の周囲には、石垣や土塁などの遺構も見られます。

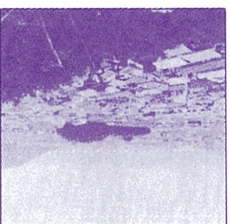
### 春日神社(可仁)

古墳公園



公園の中心には、直径約10mの石造の井戸があります。この井戸は、古墳時代のものと推定されています。また、公園の周囲には、古墳の遺構や石垣などの遺跡も見られます。

### 丁古墳公園



この古墳は、直径約10m、高さ約1.5mの円形で、南側に開口部があります。また、古墳の周囲には、石垣や土塁などの遺構も見られます。この古墳は、古墳時代のものと推定されています。

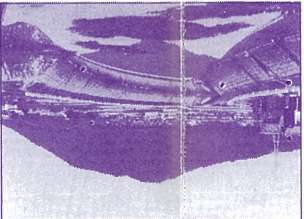
### (新)新(新)新

下太田廃寺全景



この廃寺は、東西約100m、南北約50mの範囲に広がっています。古寺の遺構は、石垣や土塁などが見られます。また、寺の周囲には、石造の井戸などの遺構も見られます。

### 大田寺



この寺は、東西約100m、南北約50mの範囲に広がっています。古寺の遺構は、石垣や土塁などが見られます。また、寺の周囲には、石造の井戸などの遺構も見られます。

### 檀特山

この山は、東西約100m、南北約50mの範囲に広がっています。古山の遺構は、石垣や土塁などが見られます。また、山の周囲には、石造の井戸などの遺構も見られます。

### 新(新)新(新)新



### 朝日神社火揚げ場



この火揚げ場は、東西約100m、南北約50mの範囲に広がっています。古火揚げ場の遺構は、石垣や土塁などが見られます。また、火揚げ場の周囲には、石造の井戸などの遺構も見られます。

### 朝日大日寺



この寺は、東西約100m、南北約50mの範囲に広がっています。古寺の遺構は、石垣や土塁などが見られます。また、寺の周囲には、石造の井戸などの遺構も見られます。

### 船の遺跡

この遺跡は、東西約100m、南北約50mの範囲に広がっています。古船の遺構は、石垣や土塁などが見られます。また、船の遺跡の周囲には、石造の井戸などの遺構も見られます。

# 文化財をたずねて 朝日山周辺めぐり



檀特山  
別名大見山。応神天皇が  
この山に登り、四方を望  
まれたのでこの名がつい  
たという。

吉備武彦命をまつる古社、  
伊勢まいりを記念した絵馬や  
写真が多い。狛犬は天保3年

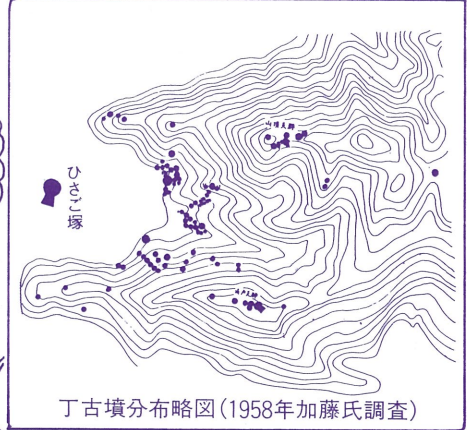


檀特山古墳群  
十基の古墳がある

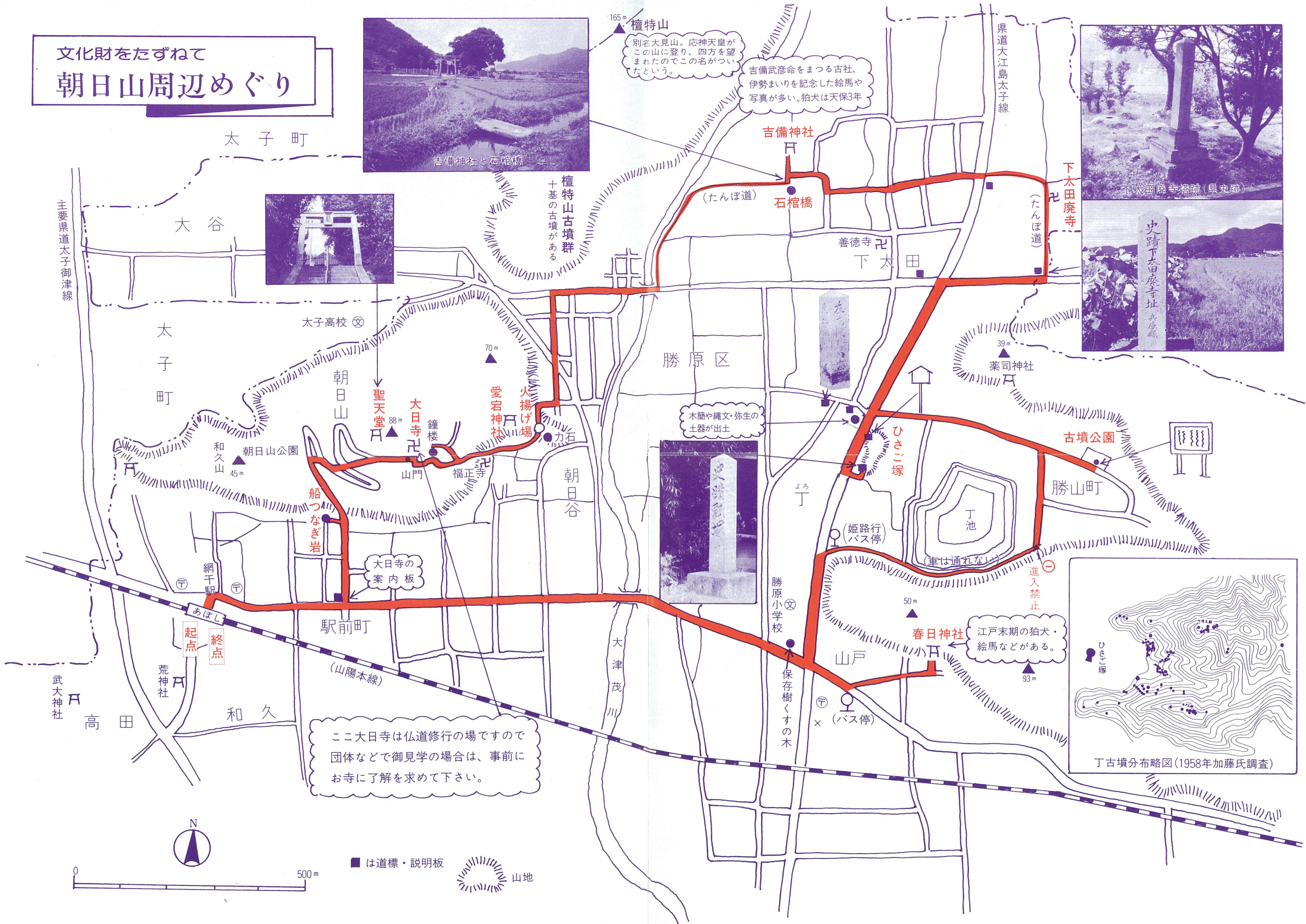


木簡や縄文・弥生の  
土器が出土

江戸末期の狛犬・  
絵馬などがある。



ここ大日寺は仏道修行の場ですので  
団体などで御見学の場合は、事前  
にお寺に了解を求めて下さい。



■ は道標・説明板

山地